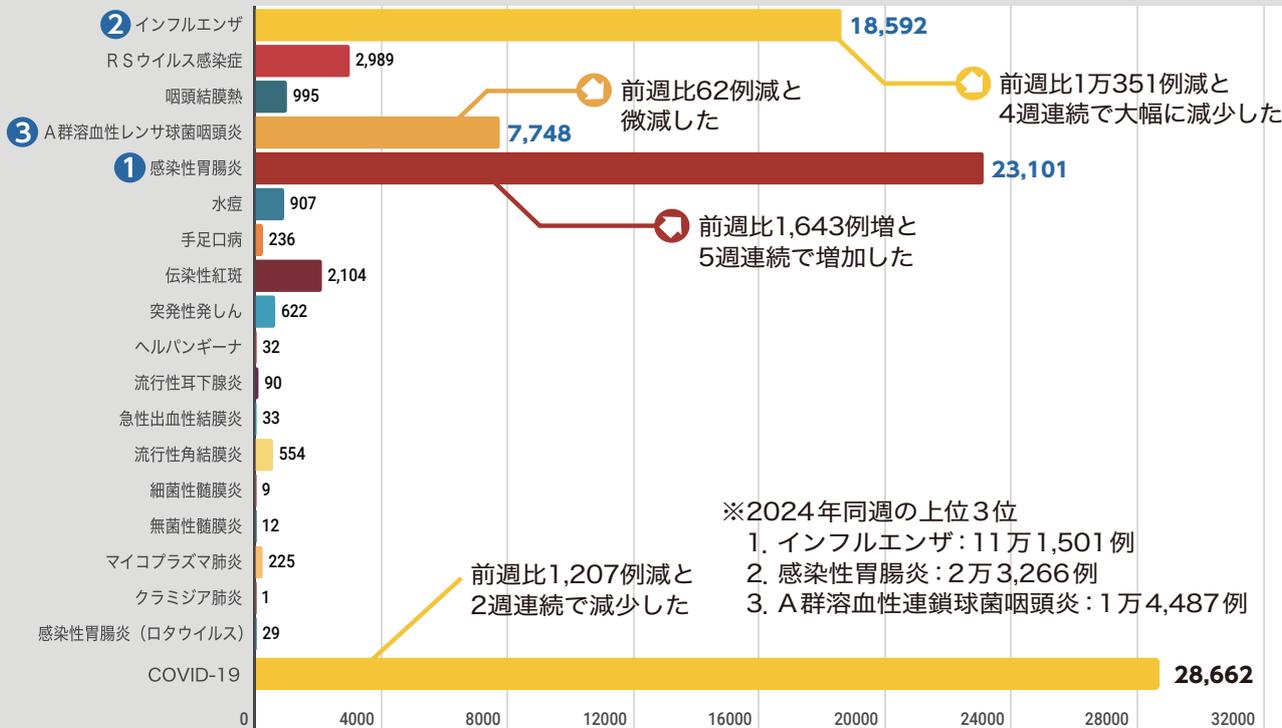




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル1万例減、感染性胃腸炎が最多に

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 2,630例
2. 神奈川県: 1,673例
3. 埼玉県: 1,456例

定点当たりの報告数(7.39)

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 18.25 | 4. 愛媛県: 11.14 | 7. 広島県: 10.23 | 10. 東京都: 10.00 |
| 2. 熊本県: 13.02 | 5. 佐賀県: 11.09 | 8. 山口県: 10.09 | 11. 福岡県: 9.60 |
| 3. 香川県: 11.39 | 6. 鹿児島県: 10.94 | 9. 富山県: 10.03 | 12. 群馬県: 9.28 |

② インフルエンザ

報告数

1. 神奈川県: 1,132例
2. 東京都: 1,124例
3. 埼玉県: 1,096例

定点当たりの報告数(3.78)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 11.46 | 4. 山形県: 8.59 | 7. 宮城県: 6.01 | 10. 栃木県: 5.04 |
| 2. 新潟県: 10.79 | 5. 群馬県: 6.98 | 8. 石川県: 5.94 | 11. 静岡県: 4.86 |
| 3. 岩手県: 8.94 | 6. 長野県: 6.06 | 9. 高知県: 5.23 | 12. 青森県: 4.86 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 698例
2. 北海道: 539例
3. 千葉県: 505例

定点当たりの報告数(2.48)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 5.36 | 4. 愛媛県: 4.25 | 7. 千葉県: 3.95 | 10. 山口県: 3.67 |
| 2. 富山県: 4.76 | 5. 新潟県: 4.16 | 8. 福岡県: 3.87 | 11. 大分県: 3.53 |
| 3. 岩手県: 4.56 | 6. 北海道: 4.02 | 9. 長崎県: 3.84 | 12. 熊本県: 3.32 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は5週連続で増加した。定点当たりの報告数は引き続き大分県が18.25と突出しており、警報レベル(20.00)に迫っている。インフルエンザは前週から1万351例減少し、2万例を割り込んだ。昨年の同時期と比べて収束スピードが速く、定点当たりの報告数が注意報レベル(10.0)にある地域は沖縄県(11.46)、新潟県(10.79)のみとなった。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は前週から微減した。COVID-19は第4週から横ばい状態が続いている。定点当たりの報告数は愛知県の8.15が最多だった。伝染性紅斑は2週連続で減少したものの、いまだ2,000例を超えており、定点当たりの報告数では福島県(2.02)、青森県(2.00)が警報レベル(2.00)にある。RSウイルス感染症は5週連続で増加しており、昨年と比べて急速に増加している。各感染症の動向を注視しつつ、引き続き感染対策の徹底が求められる。